

市議会だより

大室山 小室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



昭和31年～昭和33年頃（伊東市観光公募写真から）



令和元年 7月撮影

温
故
知
新

松川河口から望む

主な内容

- 6月定例会の概要 【 P. 2 】
- 一般質問（12議員が登壇） 【 P. 3 】
- 常任委員会だより 【 P.11 】

令和元年6月定例会

16件の議案等を可決 6月定例会を6月18日から7月2日までの15日間の会期で開会しました。

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第1号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、平成31年3月29日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第2号	伊東市都市計画税賦課徴収条例等の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正について、平成31年3月29日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市認第3号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の報告承認について	地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う条例改正について、平成31年3月29日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市報第1号	平成30年度伊東市一般会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成31年3月定例会において議決した繰越明許費のうち、生活環境向上対策事業や一般市道整備事業など、10事業、7億8,981万4,000円を平成30年度から令和元年度に繰り越したことの報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市報第2号	平成30年度伊東市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越し報告について	平成31年3月定例会において議決した繰越明許費のとおり、処理場災害復旧事業の1事業、1,631万1,000円を平成30年度から令和元年度に繰り越したことの報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市報第3号	平成30年度伊東市一般会計予算事故繰越し報告について	観光施設整備事業は、松川遊歩道の街灯の設置に当たり、試掘をしたところ、設置予定箇所周辺に温泉管が埋設していることが判明し、温泉管を保護する作業が必要となるなど、避けがたい事故のため工事の進捗が遅れが生じ、年度内に予算の支出が完了できなかったことから、563万7,360円を、また、観光施設災害復旧事業は、平成30年9月定例会において補正予算として議決したが、復旧工事に必要な浮橋はフランス製であり、工事請負業者がメーカーに発注したが、フランス国内におけるストライキにより製造が遅れが生じ、製品の確保について不測の日数を要した事等の避けがたい事故のため、年度内に予算の支出が完了できなかったことから、1,208万7,760円を令和元年度に繰り越したことの報告	市長	(質疑のみで採決なし)
市議第1号	伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	地方税法等の一部を改正する法律、森林環境税及び森林環境贈与税に関する法律の公布に伴い、個人市民税については未婚のひとり親である単身児童扶養者を非課税基準の対象とすることに伴う規定の整備、軽自動車税については種別割のグリーン化特例の見直しに係る規定の整備、法人市民税については地方税法に規定する特定法人である内国法人に対し義務付けがされている電子情報処理組織による申告方法の柔軟化等に係る規定の整備等の条例改正	市長	全会一致で可決
市議第2号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	不正競争防止法等の一部を改正する法律の施行に伴い、工業標準化法が一部改正され、産業標準化法に変更されることに伴い、日本工業規格が日本産業規格に名称変更されることによる条例改正	市長	全会一致で可決
市議第3号 🗨️ 討論	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	令和元年10月の消費税率の引上げに際し、低所得者の介護保険料軽減を強化するため、介護保険法施行令が改正され、令和元年度分の保険料から適用されることから、介護保険料が第1から第3段階に該当する第1号被保険者の保険料の減額賦課について定める条例改正	市長	全会一致で可決
市議第4号	伊東市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正がされたことに伴い、災害援護資金における、据置期間経過後の貸付利率について、現行の3%から3%以内とすること、償還方法について月賦償還を追加すること、また、条例に定める償還免除、一時償還、違約金及び償還金の支払い猶予の規定について、法律等の規定を適用する旨の改正を行うとともに、用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第5号	仮処分登記抹消登記請求に係る訴えの提起について	伊東市水道事業が管理する管路用地の処分を禁止する仮処分登記の抹消登記請求に係る訴えの提起について、伊東市水道事業の設置等に関する条例第7条第2項の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第6号	令和元年度伊東市一般会計補正予算(第1号)	幼児教育無償化に伴う子ども子育て支援システムの改修委託料1,480万6,000円の増額	市長	全会一致で可決
市選第1号	教育長任命の同意について	高橋雄幸氏(吉田)再任	市長	全会一致で任命に同意
市選第2号	公平委員会委員選任の同意について	山本哲正氏(萩)再任	市長	全会一致で選任に同意
発選第1号	議会運営委員会委員の補欠選任について	重岡秀子議員を選任	—	全会一致で選任
発選第2号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	有効投票の18票のうち、古屋鋭治氏15票、内田隆典氏3票、大房正治氏0票、柳川樹一郎氏0票、藪崎幸裕氏0票	—	—

本会議で行われた 討論の概要

【市議第二号】

《賛成》日本共産党

今回の改正は、消費税率一〇％への引き上げに伴う、低所得者の介護保険料の軽減に係るものである。介護保険料は、年金を受給していない人からも徴収することや、市民がそのまちなサービスを使えば使うほど引き上げられる等の問題点が指摘されてきた。

今回軽減対象となるのは、第一段階から第三段階までの人のみだが、少なくとも住民税非課税の人全員を対象にすべきだったのではないかと。また、財源は、国県のほか、市が四分の一を負担するが、幼児教育・保育の無償化と重なり、大きな財政負担となる。この軽減が次期改定時に継続されるのかも注視すべき点である。以上のような問題点を指摘するものの、国の示した軽減率の上限まで軽減すること等を評価し、賛成する。

一般質問

12議員が登壇/市政全般について質問 (登壇順に掲載)



稲葉 富士憲 議員
(自民・絆)

伊豆高原のメガソーラー発電所建設事業をめぐる対立について、訴訟リスクをどのように考えているか伺う

伊東市八幡野地区に建設が予定されている伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について、本市は平成三〇年一月に「伊東市美しい景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」に基づく事業の中止勧告を行い、翌二

月に事業者名を公表、平成三一年二月には事業者から提出された八幡野川の河川占用許可申請に対し、不許可処分を下した。また、経済産業省は、平成三一年一月一日に伊東市が事業者に出した勧告を遵守するよう求める改善命令を出している。

一方、事業者は、あくま

でも事業を継続すると述べ、事業から撤退する気配を見せていない。このため、先を見通せない不安定な状況が続くことは必至であり、最終的には、訴訟に発展し、司法の判断を仰ぐことになるとが予測される。

当該メガソーラー発電所建設事業をめぐる本市と事業者の対立について、訴訟によるリスクをどのように考えているか伺う。

市長

状況把握に努めるとともに、法律の専門家に意見を伺いながら対応を検討する

訴訟リスクについては、これまでも事業者側代理人を通じて、法的措置をとることや、損害賠償を求めるところであるが、本市が行った処分等に対し、どのような訴訟を提起し、どのように損害額を算出するかについては不透明な状況である。このため、今後についても事業者の動向などの状況把握に努めるとともに、状

況に応じて法律の専門家に意見を伺いながら対応を検討していく。

『その他の質問』 六項目



メガソーラー建設予定地の山並み

ことばの解説

(討論)

一般的に使用されているある議題に対しお互いの意見を闘わせることとは異なり、表決の前に、議題となっている議案について、議員が自己の賛否の意見を表明すること。このため、討論は一議題につき、一議員一回とされ、他の議員の討論内容に対し、再度討論することはできません。



土屋 進 議員
(正風改革クラブ)

伊東八景の一つである伊東オレンジビーチの整備及び年間を通じた有効活用について、考えを伺う

伊東八景の一つである伊東オレンジビーチは、観光のまち伊東の誘客にとって重要な資源であり、市街地の活性化にも大きな役割が期待されている。

これまでも一般質問において、オレンジビーチの整備に関し、「熱海サンビーチ」の整備状況なども例に出しながら、どのように計画し、推し進めていくのかについて、取り上げてきたところである。

地域タウンミーティングにおいても整備等について要望があったと認識しており、オレンジビーチの一層の魅力向上を図るよう整備するとともに、年間を通じて

て有効活用していくことが必要であると考えることから、改めて、市長の考えを伺う。

市長

今年度から三年をかけて策定する立地適正化計画において方向性を検討していく

オレンジビーチは、中心市街地にある本市の重要な観光資源であり、市民、観光客が浜辺に集い楽しむ場所として、さらなる有効活用が必要であると認識しており、これまでも、管理者である県等と協働して、先進地域の整備状況の調査などを行ってきたところである。

今年度から三年をかけたコンパクトでメリハリの効いたまちづくり形成を図るための「立地適正化計画」を策定することとしており、オレンジビーチの新たな整備については、観光立市である本市にとって重要な懸案事項であると考えていることから、この計画において、オレンジビーチを有効

活用した中心市街地のまちづくりの方向性について検討していきたい。

『その他の質問』 六項目



有効活用が検討される伊東オレンジビーチ



四宮和彦 議員
(市民民主クラブ)

伊東生まれのイベント「全日本まくら投げ大会」をモチーフとした「当地映画制作への協力体制等を伺う

若手クリエイターが映画制作をしやすい環境が整い、年間六〇〇本近くの邦画が公開されるまでになってい

ることや、SNSの発達で、低予算でも口コミを通じて大ヒットする映画が生まれていることを考えると、低予算のインディーズ映画にもっと注目すべきと考える。

巨匠や大御所と呼ばれる監督や俳優も、必ず初めは無名の新人だったのであり、そうした人たちの創作意欲や才能を支援することが、ロケ誘致につながっていく。そのためには映画制作の協力体制がどうあるべきか、真剣に考える必要がある。サービスの提供、手配だけが協力ではなく、何に困っている、何を求めているのかを丁寧に聞いて相談に乗ることも重要な要素である。「全日本まくら投げ大会」をモチーフにした「当地映画制作のプロジェクト」が進行していると聞いているが、オール伊東ロケで一本の映画として作り上げようという企画に対する、現在の本市の協力体制及び制作サイドとのコミュニケーションの状況について伺う。

市長

現在具体的な提案はないが、制作サイドからの要望に応じて臨機応変に協力を検討していきたい

全日本まくら投げ大会をモチーフとした「当地映画の制作については、昨年、制作サイドからの企画提案などを受け、今年二月に開催された第七回大会を実際に観覧していただいた。その後、先方からの映画制作に係る具体的な提案等はなく、協議は進んでいないのが現状である。

制作サイドから具体的な提案等があった際には、積極的にコミュニケーションを図り、協力体制についても検討していく。

『その他の質問』 八項目



全日本まくら投げ大会は伊東市発祥



中島 弘 道 議員
(自民・絆)

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた大会PR及び地域の活性化に向けた取り組みを伺う

伊豆市で開催される自転車競技会場への輸送拠点までのアクセス方法としては、JRを利用する方法と車を利用する方法があり、また経路としては三島を通り、大仁、修善寺から向かう方法と、伊東を経由していく方法がある。

アクセスの拠点として重要な位置にある本市としては、ぜひ伊東を経由していく観客をふやし、また素通りではなく、宿泊を初め、滞在の長時間化を図るなど地元で経済効果が生まれるようプロモーションしていくことが必要である。夏の繁忙期とも重なり混雑も予想されることから、安全対策

策も考えていかねばならないことを踏まえ、大会までのPRや地域の活性化に向けた取り組みについて伺う。

市長

自転車競技の認知度を高めるPRに努めている

オリンピック・パラリンピックに係るPRについては、自転車をこぐ速度を競うシミュレーション（スピードキング）を実施し、自転車競技に対する認知度を高めていただくなど、機運の醸成に努めてきた。今後、市内高校の生徒がデザイン・制作したPR掲示物を市庁舎や市内各所に掲出するなど、さらなるPRと機運醸成に努めていく。

地域の活性化に向けた取り組みについては、松川藤の広場を会場として、大型モニターを搭載したビューイングカーにより、競技を観戦しながらステージイベントや物販飲食を楽しむことのできる「東京2020ライブサイト」の実施を検討している。

『その他の質問』 六項目



市内で開催されたPRイベントの様子

特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援の充実が必要ではないか



重岡 秀子 議員
(日本共産党)

普通学級の活動や集団になじめないなど、個別の指導が必要な子供たちに教育支援を行う通級指導教室の希望者が多く、予約が取り

にくいと聞く。そこでのかわりなどを支えに、かろうじて不登校にならずにいるお子さんの話や、中学校になると通級学級がなく不安であるとの保護者の声もあり、相談体制や通級学級のより一層の整備と、中学では市内に一校しかない特別支援学級を他校へもふやすなどの支援の充実が必要と考える。

学校教育は教師が県職員であり、基本的には国県の教育政策、予算などの改革なしには解決できない問題が多いが、本市の考えを伺う。

教育長
通級指導教室は本年度一学級増となった

小中学校の通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒の割合は、過去五年間でほぼ横ばいであるが、幼稚園、保育園では増加傾向がみられるため、今後は小中学校においても増加傾向が予測される。学校では、特別な支援を

必要とする児童生徒に関する保護者等からの相談については、担任や特別支援コーディネーター、養護教員が窓口となって相談を受けた後、ケース検討会を開くなど教職員や支援員の共通理解を図っているが、相談内容やケースは多様化しており、専門的知識や指導力の向上が課題となっている。

なお、本年度は県教育委員会へ強く要求してきたこともあり、通級指導教室の一学級増級が認められた。今後は、中学校の特別支援学級の 신설も検討が必要と考えている。

『その他の質問』 六項目



西小学校内の通級指導教室



鳥居 康子 議員
(公明党)

市指定ごみ袋について、二〇リットル袋など、より小さいサイズを導入する考えはないか伺う

ごみ処理の有料化を開始し、一〇年以上が経過しているが、現在の市指定ごみ袋の三種類のサイズ（四五リットル、三〇リットル、二〇リットル）に加え、より小さいサイズのごみ袋の取り扱いを求める市民の声を聞くことがある。

ひとり暮らし、高齢社会、少子化など、世帯規模の縮小や家族形態の変化、また、環境問題の観点から、現在のごみ袋のサイズ展開に加え、一〇リットル袋など、より小さいサイズのごみ袋を導入する考えはないか伺う。

市長
価格低下による市民サービ

スの向上につながる見込みが薄いため、現状のサイズ展開が適当であると考え

本市指定の家庭系可燃ごみ袋の大きさについては、二〇リットル、三〇リットル、四五リットル、及び四五リットルの手さげなしの四種類を製造しており、直近三年間の利用率の推移では、二〇リットルのごみ袋は一八・六％から一七・五％に減少していることから、需要が次第に少なくなっている状況にある。

これを踏まえると、二〇リットルよりも小さなサイズのごみ袋を必要とする市民は、少数ではないかと思込まれ、また、一〇リットルのごみ袋を製造した場合の単価を現在の仕入れ業者に確認したところ、二〇リットルのごみ袋と同程度とのことであった。

購入価格が下がるのであれば市民サービスの向上につながることから、小さなごみ袋の製造を検討することも考えられるが、二〇

リットルと同程度の価格になることを踏まえると、ごみ袋の大きさは、現状のままが適当であると考えている。

『その他の質問』 五項目



家庭用指定ごみ袋は現在4種類



大川 勝弘 議員
(自民・絆)

観光地伊東市の弱点の一つは、情報発信力であると考えられるが、観光情報の発信をどのように考えるか伺う

り上げているイベントがあるが、来遊客への宣伝が十分であったとは思えず、観光地である本市の弱点として、宣伝力や情報発信の仕組みがあげられると考える。観光情報の発信については、SNSなどのさまざまなメディアを活用し、影響力のある人に発信してもらうことが効果的であり、また、市が民間のイベント情報を収集し、発信することで、イベント認知度の向上を図ることができると思われるが、情報収集及び発信について、どのように考えているのか伺う。

市長
観光情報サイトの全面リニューアルに伴い、民間イベントなどの情報発信も検討する中で、統一的かつ効果的な情報発信を図る

これまで、インフルエンサーなど影響力が大きい人物に本市のイベントを体験していただき、SNSに投稿してもらうなどのプロモーションを行っており、

リアルタイムな情報発信が可能なSNSの活用は、大きな効果があると認識している。

民間イベントなどは、関連団体等からの情報収集のほか、シルバー人材センター発行の情報誌「にぎわい」などで幅広く発信している。

全面リニューアル予定の観光情報サイトについては、情報発信における現状と課題を整理し、コンセプトを明確にする中で、情報を効果的に発信できるようサイトを構築する予定であり、民間イベントの情報発信についても検討し、統一的かつ効果的な情報発信を図っていく。

『その他の質問』 九項目



2日間にわたり開催されたサボンニ・アジロックフェス



浅田良弘議員
(市民民主クラブ)

本年一〇月から施行される
幼児教育・保育の無償化に
ついて、本市独自に対象世
帯の拡大を検討する考えは
ないか伺う

子ども・子育て支援法の
一部を改正する法律により、
幼児教育・保育の無償化が
一〇月から施行される。概
要は、子ども・子育て支援
の内容及び水準について、
全ての子供が健やかに成長
するように支援するもので
あって、良質かつ適切なも
のであることに加え、子供
の保護者の経済的負担の軽
減に適切に配慮されたもの
とする旨を基本理念に追加
し、子育てのための施設等
利用給付を創設すること等
ある。

幼児教育・保育の無償化
については、原則、三歳児
から五歳児までの幼稚園、

保育所等の利用料を無償化
し、また、ゼロ歳児から二
歳児までは、住民税非課税
世帯のみが無償化となるが
住民税非課税世帯との境界
線付近にある無償化の対象
とならない子育て世帯に対
し、本市独自の支援策を講
じる考えはないか伺う。

市長

わずかな所得差で無償化の
対象とならない世帯に対す
る負担軽減措置を検討する

本市の保育料については、
国基準と比較し、平均四
〇％ほどの減額措置をして
おり、低所得者層では、六
〇％から七〇％の減額をし
負担軽減を図っている。

このほかにも、低所得者
層を対象に多子軽減の拡大
や、所得制限はあるものの、
ひとり親世帯の保育料の無
償化なども実施している。

しかし、一〇月に予定さ
れているゼロ歳児から二歳
児までの保育料の無償化は、
非課税世帯に限定しており、
わずかな所得差で対象とな
らない世帯もあると考える

ことから、無償化の制度改
正とあわせ、どのような負
担軽減の措置ができるのか
検討を行い、子育てしやす
い環境整備を進めていく。
『その他の質問』 五項目



10月1日から実施される
幼児教育・保育の無償化



青木敬博議員
(自民・絆)

チラシなどの各種観光販促
物のスケジュール管理が徹
底されていない状況がある
と考えるが、その対策をど
のように考えるか伺う

昨年のHIKARIT
O YUKATA (ひかり
とゆかた) にぎわい演出事

業では、チラシなど販促物
の完成が事業開始後になっ
た。また、平成最後・令和
最初の花火大会についても
完成が三週間ほど前になる
など、イベントの告知期間
が短いために、十分に告知
できているとは言い難い状
態であった。

この根本的原因は外部事
業者の管理及びスケジュール
の管理ができていないこ
とだと考えるが、今後、そ
の対策はどのようにしてい
くか伺う。

市長

観光プロモーション事業に
おけるプロジェクトチーム
の中で、課題の解決方法等
について検討していく

市外からの誘客を目的と
したイベントなどの
情報については、最
低でも二カ月前まで
にはチラシなど、あ
らゆる媒体を活用し
て情報発信をしてい
く必要があると考え
ているが、毎年、年
度始めの四月から六



浴衣レンタルスペース
「ゆかたび」のチラシ

月頃までの間が空白の期間
となっており、情報発信が
遅くなってしまっている。
これら各種観光販促物の
制作や情報発信等のスケ
ジュール管理については、
本市のみならず、観光関連
団体や各事業者が情報共有
を密にし、一体となって進
めていく必要があると考え
ており、今年度から三年間
かけて実施していく伊東市
観光プロモーション事業に
おいて、プロジェクトチー
ムを立ち上げる予定である
ことから、その中で、これ
らの課題の解決方法や適切
なタイミングでの情報発信
及びスケジュール管理につ
いても検討していく。
『その他の質問』 五項目



佐藤龍彦議員
(日本共産党)

LGBTへの配慮や着衣としての機能性向上の観点から、中学校における制服の選択制の導入について、市の見解を伺う

制服着用の義務は全国的にも中学校からが多く、制服によって着用する衣服が男子・女子で分けられ、女子生徒はスカートの着用を義務づけられている。

近年では、「身体の性」と「心の性」が一致しない「トランスジェンダー」の生徒が制服で男女に分けられることを苦痛と感じ、ストレスから不登校になる事例も報告されているが、LGBTを初めとする性的マイノリティーが自分の性に関する悩みを周囲に相談できないケースも多く、表面化しづらい問題となっている。

また、機能性の面でもスカートより動きやすいズボンも選べる選択肢を用意することは、生徒の学校生活において重要なことだと考える。

以上のような観点から、全国的には制服の選択制を導入、または、導入予定の自治体や学校がふえてきているが、本市の中学校における制服の選択制の導入について、市の見解を伺う。

教育長

現在のところ導入の予定はないが、導入済みの他の自治体や学校を参考に調査・研究をしていく

本市では、中学校における制服の選択制について、現在のところ導入の予定はないが、導入している自治体や学校もふえてきていることから、そのような事例を参考に調査・研究していきたいと考えている。その際には、制服の機能性や安全性及びLGBT理解の視点で検討すると同時に、児

童生徒及び保護者並びに教職員の意見を十分に把握し、検討していくことが重要であると考えている。

『その他の質問』 二項目



ズボンやスカートなど制服を自由に選べる制服選択制



稲葉正仁議員
(会派に所属していない)

クルーズ船に着目した、時代に沿った観光開発及び観光施設の整備について

政府は二〇二〇年のインバウンド観光客の目標を四〇〇〇万人とし、日本中で外国人観光客の呼び込み、受け入れ施策が進められて

いる。

先日、大型クルーズ船の伊東港初寄港が話題になったが、大型クルーズ船の旅が高ねの花でなく、一般に利用できる料金設定となつたことから、アジアを中心とした外国人観光客の利用が増加している。

しかしクルーズ船の寄港地は、八割が九州を中心とした西日本で、関東への寄港は二割弱にとどまっておらず、その寄港地が足りていないのが現状である。

伊東湾は、クルーズ船接岸のための整備ができる条件を備えた、大きな可能性を秘めた港であることから、港の整備、外国人観光客等の受入整備を進めるべきと考えられるが、いかがか。

市長

先進事例を参考に、調査、研究していく

クルーズ船観光のニーズは世界的に高まっており、日本国内においてもクルーズ船の寄港回数が急増している状況は認識しており、

また、クルーズ船寄港がもたらす経済的効果は非常に大きいと考えている。

一方で、伊東港には直接接岸できず、テンダーボートで乗船客を送迎する必要があり、天候や波の状況により上陸の可否が左右されるという課題がある。

港の整備や外国人観光客等の受入体制の整備については、国・県をはじめとする各種団体との協議が不可欠であるため、今後、各団体の意見も伺う中で、クルーズ船誘致の先進事例なども参考にしながら調査、研究していきたい。

『その他の質問』 二項目



伊東港に初寄港した「ぱしふいっくびいなす」



犬 飼 このり 議員
(会派に所属していない)

柔軟剤や制汗剤等による「香害」に対する市の認識及び対応状況を伺う

化学物質過敏症は、日用品などに含まれるごくわずかな化学物質に反応し、さまざまな体調不良が引き起こされる症状であり、近年、柔軟剤等の香り成分による健康被害を訴える人がふえ、「公害」をもじって「香害」と呼ばれている。 においの感じ方には個人差があり、他者への影響を考える人は多くないため、まちじゅうに「香害」が広がっており、学校でも他の生徒の衣服に残った香りに不調を訴え、不登校に至るケースも報告されている。 このため、化学物質過敏症を引き起こす健康被害に関し、柔軟剤や制汗剤等による「香害」に対する市の

認識及び対応状況を伺う。

市長

国の動向を注視しつつ、正確な情報に基づいた啓発や情報発信に取り組んでいく

市長 昨今、家庭で使用する香りつき洗濯洗剤や柔軟剤、化粧品や香水、制汗剤などの香料に含まれる香り成分に起因し、頭痛やめまい、吐き気等の身体症状を発する症例が報告されている。言わば、香り成分による公害であることから、香りの害と書いて「香害」と呼ばれるようになってきている事については、聞き及んでいる。しかしながら、このいわゆる「香害」については、現時点では、国においてもその原因や病態、発生のメカニズム等について科学的な知見に基づく実態解明がまだ進んでおらず、香りに関連した健康被害への対応についての指針等も示されていないのが現状である。 そのため、引き続き、国の動向を注視し、積極的な情報収集をする中で、他市

の取組事例等も参考にしながら、正確な情報に基づいた啓発や情報発信等に取り組んでいく。

『その他の質問』 六項目

化学物質過敏症の啓発ポスター



議会を傍聴してみませんか?

市政に対する真剣な議論や、あなたが貴重な一票を投じた議員の発言などを直接ごらんになってみてはいかがでしょうか。

傍聴席入り口で記名等をしていただくだけの簡単な手続で傍聴することができますので、希望される方は、議会事務局（市役所低層棟三階）まで気軽にお越しください。

意見書提出を求める

陳情の取り扱いについて

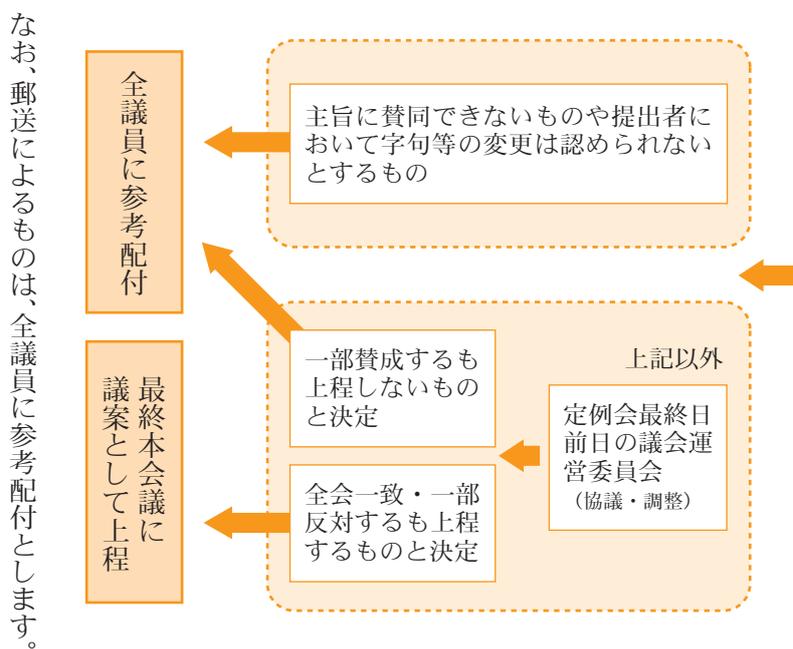
陳情のうち、持参による「意見書提出を求める陳情」については、次のように取り扱っています。

〈提出期限〉

定例会告示日の前日の午前10時まで

〈取扱方法〉

定例会告示日翌日の議会運営委員会に提案



なお、郵送によるものは、全議員に参考配付とします。

閉会中の議会活動

※平成31年3月定例会閉会後から令和元年6月定例会開会まで



- | | |
|--------------------|--------------------|
| 3月25日 常任総務委員会協議会 | 5月9日 常任総務委員会協議会 |
| 4月4日 常任福祉文教委員会協議会 | 5月13日 議会活動活性化協議会 |
| 4月16日 議会報編集委員会 | 5月30日 常任福祉文教委員会協議会 |
| 4月23日 議会活動活性化協議会 | 6月12日 議会運営委員会 |
| 4月24日 常任観光建設委員会協議会 | |



※録画映像は公式記録ではありません。後日調製される会議録が公式記録です。

■アクセスは、
伊東市ホームページ
← (市政の情報)
伊東市議会
←
市議会インターネット中継
放送

伊東市議会では、開かれた議会を目指し、本会議の録画映像をインターネットでご覧いただける取り組みをしております。会議の翌日から起算して、おおむね一週間後から視聴できます。

本会議録画映像をインターネットで視聴できます！

公職選挙法に基づく政治家の三ない運動

政治家が選挙区内の人に寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいけません。

秘書等が代理で出席する場合の結婚祝



地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入



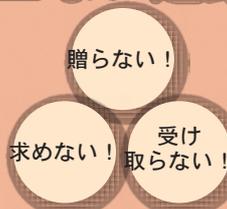
お祭りへの寄附・差入



町内会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入



みんなで徹底しよう
三ない運動



これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。

落成式・開店祝等の花輪



病気見舞



お歳暮・お年賀



入学祝・卒業祝



葬儀の花輪・供花



秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省HPより

(詳しくはhttp://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo08.htmlをごらんください)

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、八月中旬発行予定の六月定例会会議録の委員会審査報告をこらんどください。

総務委員会

問 伊東市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例に関し、住民税非課税措置の対象拡大について伺う。

答 子どもの貧困に対応するための個人住民税非課税措置として、本改正により、寡婦または寡夫控除の対象が拡大されることとなり、従前、対象とならなかった未婚のひとり親についても、前年の合計所得金額が一三五万円以下である場合には、同措置の適用対象となる。

《個人住民税非課税措置》	
改正前	改正後
障がい者、未成年者、寡婦または寡夫等	障がい者、未成年者、寡婦または寡夫等 児童扶養手当の支給を受けている児童の父または母のうち、現に婚姻をしていない者または配偶者の生死の明らかでない者

寡婦(夫)控除の対象が拡大される

観光建設委員会

問 日本工業規格が日本産業規格に改められることに伴う条例改正が、伊東市手数料徴収条例のみであることから、用紙サイズを記述する理由を伺う。

答 本市例規集において、「日本工業規格」という文言は、本条例のほか、一八件の要綱等において、申請書を初めとした様式の規格を定めるために記述している。また、本条例については、実際のシステムにおいても、A3までの用紙の出力に対応している。



「日本工業規格（JIS）」は「日本産業規格（JISS）」には

福祉文教委員会

問 伊東市介護保険条例の一部を改正する条例に関し、今年度の保険料軽減見込み額及び軽減に伴う減収を補填する財源について伺う。

答 改正による軽減見込み額は総額約七六一〇万円と試算している。一般財源からの繰り入れで補填するが、その財源は、国が二分の一、県が四分の一、市が四分の一の割合で負担することとなる。



第一段階から第三段階までの人の保険料が軽減される

浴衣ゆかた議会を開催しました。

～温泉情緒あふれる伊東を発信～

六月定例会最終日の七月二日は、本会議において議員及び市長をはじめとする市幹部職員が全員浴衣を着用する「浴衣議会」を行いました。

本市が昨年度から実施している、HIKARITOU YUKATA（ひかりとゆかた）にぎわい演出事業の一環で、昨年九月定例会初日に引き続き実施しました。

会議の冒頭、井戸清司議長は、「議会としても浴衣によるまちの活性化に向けた取り組みを応援し、観光客や市民が浴衣を羽織ってそぞろ歩く町並みを全国に発信できたら」との思いから、「浴衣議会」として開会した」と述べました。



市議会内の会派構成

正風改革クラブ



佐山 正(代表)



山口嘉昭



井戸清司



土屋 進

自民・絆



稲葉富士憲(代表)



大川勝弘



青木敬博



中島弘道

市民民主クラブ



四宮和彦(代表)



鈴木克政



浅田良弘

公明党



鳥居康子(代表)



長沢 正

日本共産党



重岡秀子(代表)



佐藤龍彦

会派に所属していない議員



犬飼このり



横沢 勇



稲葉正仁

9月定例会の予定

8月26日(月) 開会

※日程等は、8月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。

全国市議会議長会
議員表彰

去る六月一日、全国市議会議長会定期総会において永年勤続の表彰を受けた議員に対し、六月定例会において、その伝達を行いました。
一〇年以上勤続
四 宮 和 彦 議員

編 集 後 記

厳しい暑さの夏も過ぎ、実りの季節を迎えようとしています。

議員改選のため、第一八期の議会報編集委員による市議会だよりの発行は、本号で最後となりました。

編集委員一同、市民の皆様にはわかりやすく、親しみやすい紙面づくりを心がけ、編集に努めてまいりましたが、いかがでしたでしょうか。

今後も、引き続きご愛読をお願いするとともに、市議会、市議会だよりへのご意見など、お寄せいただきますようお願い申し上げます。

議会報編集委員会

- 委員長 四宮和彦
- 副委員長 佐藤龍彦
- 委員 山口嘉昭
- ” 大川勝弘
- ” 鳥居康子

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ